禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B44

「中央職業能力開発協会編」

令和5年度 技能検定
1級 建築大工 学科試験問題
(大工工事作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　洋小屋組は、和小屋組よりもスパンの大きい小屋組には適さない。

2　方づえとは、柱と横架材で構成される入隅部を固める斜材のことである。

3　壁筋かいにおいて、片筋かいよりも、たすき掛け筋かいの方が、水平力に対する変形が小さい。

4　ラーメン構造とは、柱とはりの接合部を剛に接合した建築構造をいう。

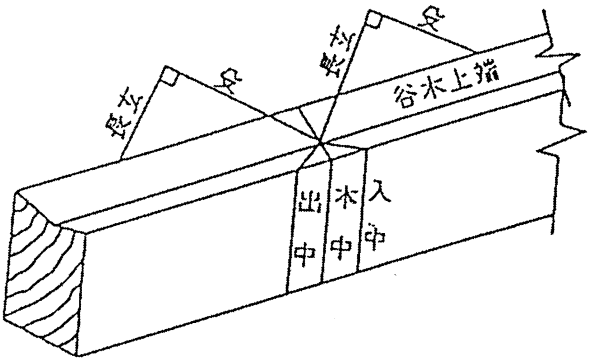
5　次図は、片持ちばりを表している。



6　奈良県の法隆寺は、飛鳥様式を代表する建築物である。

7　そり軒において、たる木上端の切墨の見通し線は、真上から見た場合、直線にならない。

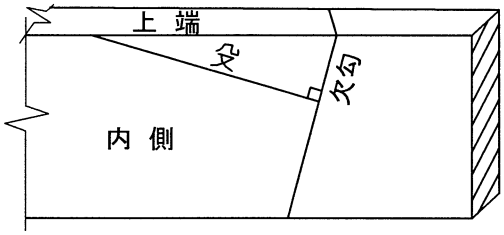
8　次図は、棒隅谷木上端のたすき墨のさしがね使いを表したものである。



9　桁の棒隅木(真隅木)が落ちがかる勾配と、柱への棒隅木(真隅木)差し口の下端墨の勾配は、同じである。

［A群（真偽法）］

10　内側と上端が直角である場合において、次図は、じょうご形四方転びの内側胴付き墨のさしがね使いを示したものである。



11　自動かんな盤で削った材料の厚さが左右異なるのは、板押えが均一でないからである。

12　工事種別施工計画書には、一般に、品質管理計画書も含まれる。

13　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、勾配が15°を超える架設通路には、踏桟その他の滑止めを設けなければならない。

14　ベンチマークは、根切の深さや基礎の高さなどを決めるのに使用される。

15　基礎に埋め込むアンカーボルトの形状は、L型よりもI型の方がよい。

16　鴨居は、木表側が下端になるように加工する。

17　アンカーボルトのねじ山の上部は、ナット上端よりも3山以上出す。

18　鉄筋コンクリート構造の鉄筋コンクリート工事で型枠及び支柱を最も長く残しておく箇所は、はり下端である。

19　柱に養生紙を貼る目的は、傷を防ぐだけでなく、日焼け等も防ぐためである。

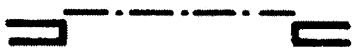
20　公共建築工事標準仕様書によれば、木工事で使用するくぎの長さは、打ち付ける板厚の2.0倍以上とされている。

21　セメントは、一般に、水と混ぜると発熱する性質がある。

22　柱頭、柱脚の仕口に使用される接合金物は、一般に、軸組の種類(筋かいの断面寸法、片掛けたすき掛け等)と柱の配置等により決められる。

［A群（真偽法）］

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図は、シャッターを表す平面表示記号である。



24　建築基準法関係法令によれば、地階とは、床が地盤面下にある階で、床面から地盤面までの高さがその階の天井の高さの1/5以上のものをいう。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、脚立の脚と水平面との角度を80°以下とし、かつ、折りたたみ式のものにあっては、脚と水平面との角度を確実に保つための金具等を備えることとされている。

［B群（多肢択一法）］

1　木造建築物において、土台を基礎に緊結する理由として、誤っているものはどれか。

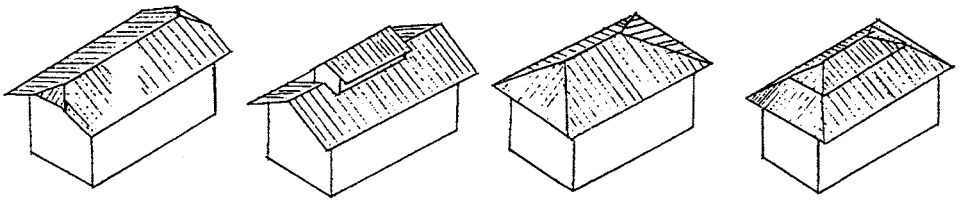
イ　風圧による建築物の転倒を防ぐため。

ロ　地震のときに、建築物が基礎からずれ落ちないため。

ハ　建築物の脚部を固め、筋かいを有効に働かせるため。

ニ　建物の地盤沈下を防ぐため。

2　屋根の形とその名称の組合せとして、正しいものはどれか。



イ　半切妻　　ロ　腰折　　ハ　方形　　ニ　寄棟

3　建築基準法関係法令によれば、共同住宅(直上階の居室の床面積の合計が200m²を超える地上階)の階段の寸法として、正しいものはどれか。

イ　幅120cm以上、けあげ20cm以下、踏面24cm以上

ロ　幅100cm以上、けあげ20cm以下、踏面24cm以上

ハ　幅75cm以上、けあげ23cm以下、踏面24cm以上

ニ　幅120cm以上、けあげ23cm以下、踏面24cm以上

4　鉄筋コンクリート構造に関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　定着とは、一方の部材の鉄筋を他方の部材のコンクリート中に伸ばして抜けないようにすることをいう。

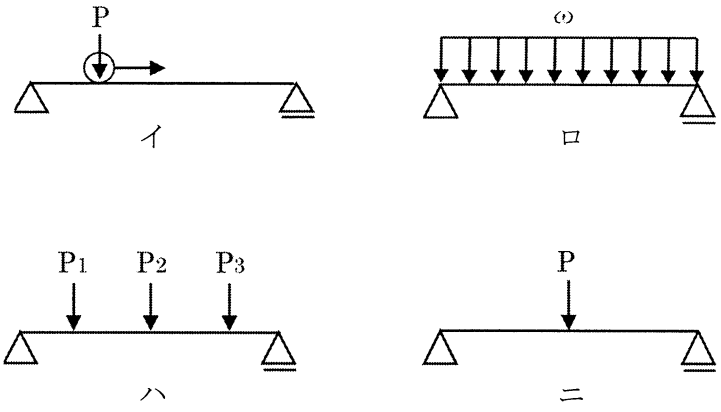
ロ　鉄筋とコンクリートの付着強度は、丸鋼よりも異形鉄筋の方が高い。

ハ　はりの鉄筋のうち、あばら筋(スターラップ)は、主としてはりに生じる曲げモーメントに対する補強のために使用される。

ニ　スラブとは、一般に、鉛直荷重を支える鉄筋コンクリート構造の厚い床版のことをいう。

［B群（多肢択一法）］

5　等分布荷重を表す図として、正しいものはどれか。



6　一般に、屋根のない門はどれか。

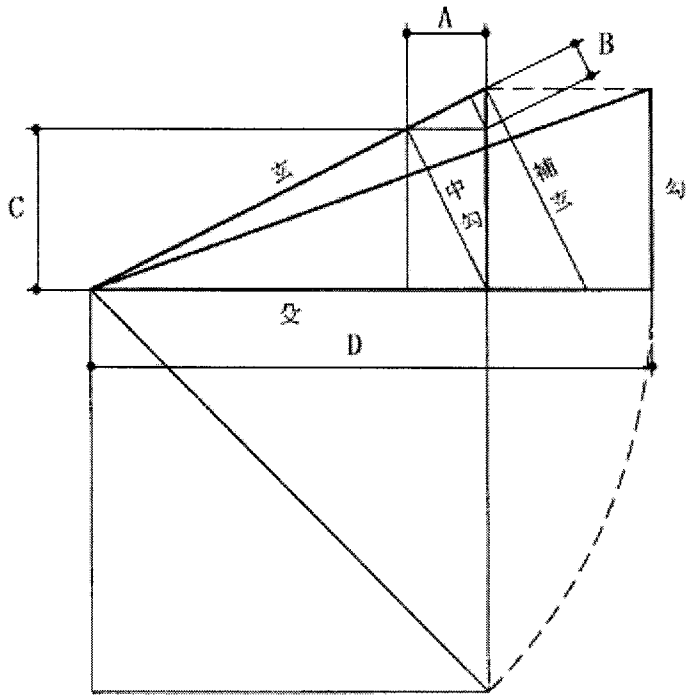
イ　薬医門
ロ　冠木門
ハ　四脚門
ニ　高麗門

7　平勾配と振れ角度が同一の場合、振れたる木桁上端芯墨のさしがね使いとして、正しいものはどれか。

イ　中勾の返し勾配
ロ　隅中勾の返し勾配
ハ　振中勾の返し勾配
ニ　欠勾の返し勾配

［B群（多肢択一法）］

8　次図は、規矩術の基本図であるが、A、B、C及びDの組合せとして、正しいものはどれか。



	A		B		C		D
イ	隅殳	・・・	欠勾	・・・	小殳	・・・	小中勾
ロ	短玄	・・・	小殳	・・・	小中勾	・・・	隅殳
ハ	小中勾	・・・	短玄	・・・	隅殳	・・・	欠勾
ニ	小殳	・・・	小中勾	・・・	欠勾	・・・	隅殳

9　隅木側面に出すたる木下端線として、正しいものはどれか。

イ　配付けたる木の成を、隅木上端外角から立水で出す。

ロ　配付けたる木の成を、隅木上端外角から直角で出す。

ハ　配付けたる木の立水寸法を、隅木上端外角から立水で出す。

ニ　配付けたる木の立水寸法を、隅木上端外角から直角で出す。

10　棒隅木(真隅木)のさしがね使いに関する記述として、誤っているものはどれか。

イ　隅木側面の直投墨は、殳と欠勾である。

ロ　隅木側面の立水墨は、隅殳と勾である。

ハ　配付けたる木の上端配付け墨は、殳と長玄である。

ニ　配付けたる木の立水墨は、殳と勾である。

［B群（多肢択一法)］

11　棒隅木(真隅木)の上端に出す鼻隠し当り角度のさしがね使いとして、正しいものはどれか。

イ　中勾と隅長玄
ロ　長玄と殳
ハ　殳と短玄
ニ　欠勾と隅殳

12　曲線挽きに使用する電動工具として、最も適切なものはどれか。

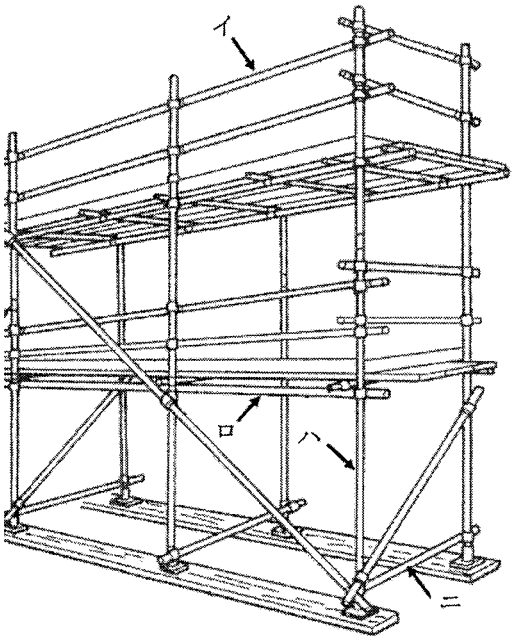
イ　電動ジグソー
ロ　電動ルータ
ハ　電動チェーンソー
ニ　電動丸のこ

13　木工事における作業順序の組合せとして、正しいものはどれか。

イ　現寸矩計　→　刻み　→　墨付け　→　土台据え
ロ　土台据え　→　墨付け　→　刻み　→　現寸矩計
ハ　現寸矩計　→　墨付け　→　刻み　→　土台据え
ニ　墨付け　→　刻み　→　現寸矩計　→　土台据え

14　次図の単管足場における各名称として、誤っているものはどれか。

イ　手すり
ロ　中さん
ハ　建地
ニ　根がらみ



15　水盛り・遣方の順序として、正しいものはどれか。

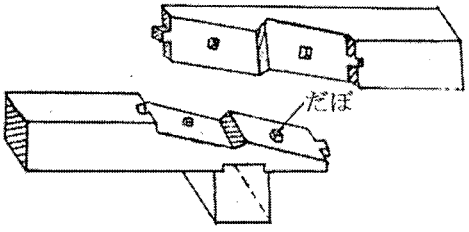
イ　地縄張り　→　水杭　→　水盛り　→　水貫　→　芯墨出し
ロ　地縄張り　→　水盛り　→　水杭　→　水貫　→　芯墨出し
ハ　地縄張り　→　芯墨出し　→　水盛り　→　水杭　→　水貫
ニ　地縄張り　→　水杭　→　芯墨出し　→　水盛り　→　水貫

［B群（多肢択一法）］

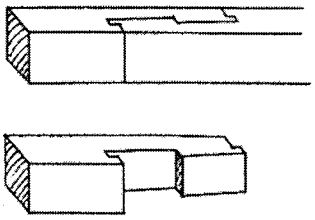
16　基礎工事に関する記述として、誤っているものはどれか。
　イ　コンクリートの打設後、型枠は、1日経過すれば取り外してもよい。
　ロ　布基礎の立上がり部分の上・下主筋は、D13以上とする。
　ハ　基礎の底面は、建設地域の凍結深度よりも深くする。
　ニ　換気孔を設ける場合は、その周辺にD10以上の補助筋で補強する。

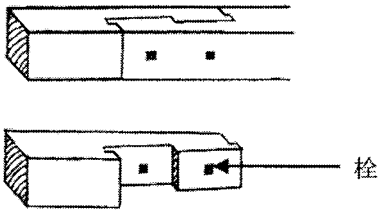
17　軒先に関する記述として、誤っているものはどれか。
　イ　鼻隠しは、たる木の先に取り付ける材である。
　ロ　かわら座は、けらばに取り付ける材である。
　ハ　広小舞は、たる木の上に取り付ける材である。
　ニ　木小舞を付けた場合、化粧板は、たて張りとする。

18　次図の継手のうち、いすか継ぎはどれか。

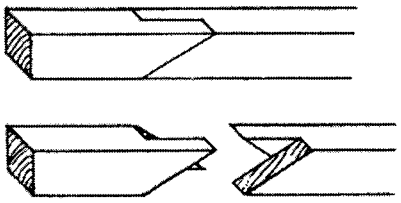


イ


ロ



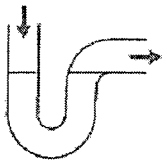
ハ


ニ

19　木工事の施工法に関する記述として、誤っているものはどれか。
　イ　仕口・継手は、寸法を正確にゆるみなく施工する。
　ロ　仕口・継手部分を、金物で補強する。
　ハ　欠込みを行う場合、位置と大きさを考慮する必要がない。
　ニ　筋かいの仕口は、金物で補強する。

［B群（多肢択一法）］

20　次図のトラップの名称として、正しいものはどれか。



イ　Sトラップ
ロ　Pトラップ
ハ　Uトラップ
ニ　わんトラップ

21　集成材に関する記述として、誤っているものはどれか。
イ　一般木材よりも狂いが生じにくい。
ロ　一般木材よりも伸縮が大きい。
ハ　一般木材よりも長尺及び断面の大きいものができる。
ニ　一般木材よりも強度のばらつきが小さい。

22　コンクリートに関する記述として、正しいものはどれか。
イ　水セメント比の大きいものほど、強度は高い。
ロ　強度は、材齢21日の圧縮強度で表す。
ハ　建築基準法関係法令において、準不燃材料として定められている。
ニ　セメント、水、骨材及び必要に応じて混和材料を練り混ぜたものである。

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、コンクリート及び鉄筋コンクリートを表す材料構造表示記号として、正しいものはどれか。



イ　ロ　ハ　ニ

24　建築基準法関係法令における住宅の居室の採光面積として、原則として、正しいものはどれか。
イ　床面積の1/4以上
ロ　床面積の1/5以上
ハ　床面積の1/7以上
ニ　床面積の1/10以上

25　熱中症対策に関する記述として、適切でないものはどれか。
イ　定期的に水分及び塩分を摂取できる準備をする。
ロ　通気性の良い作業服を着用させる。
ハ　通風又は冷房を行う設備を設ける。
ニ　熱への順化のため、高温多湿の作業場所で長時間作業を行わせる。